

熊本県知事様へ

介護現場の高齢者の命を守るためにどうかお力をお貸してください。

今後内容については、熊本県内の地域密着型サービス事業者のアンケート内容も付け加えて、文章化したのち、意見提言としてまとめさせていただきますが、まずは、緊急のため、急ぎお願いしたいと思い、知事への直行便を活用させていただきます。

- ・ 高齢者の命を守る医療に次ぐ介護に対する感染予防策の強化：介護現場に対するマスクやアルコールなどの確保・提供
- ・ 在宅の重度障害者への支援の強化：マスクやアルコールなどの確保・提供
- ・ 施設における発熱者出現時の相談窓口の設置とクラスター感染予防対策の推進：発熱者出現時の相談窓口の設置と速やかな検査体制の確保と、感染可能性があるときの対策の相談、陽性反応が見られたとき速やかな医療機関への隔離の支援、もしくは、やむおえず、施設内隔離の場合、DMAT や自衛隊による支援の要請、ゾーニングの教示と協力、支援物資の支給、酸素モニターなどの貸与、医師や専門の保健師などとの定時の情報交換体制の確立
- ・ 新型コロナ治療薬としてのアビガンの使用を虚弱高齢者の場合、4日と様子観察せず、早めに投与できるようにする。認知症高齢者などの意思表示ができない人の場合、家族や後見人の意見で、内服できるようにする。医師会との調整を行う。
- ・ 熊本県内・市内の感染状況の明確化、買い物先への衛生状況の確認と安心マークの設置：買い物先には、買い物客にもアルコールなどの手指消毒・マスク着用の要請・ソーシャルディスタンス、徹底して行う店に安心マークを張り出す。
- ・ 感染弱者への対応強化：ホームレス、高齢者だけの世帯への支援強化として、ホームレスへの調査や生活環境の改善策を話し合う。
- ・ 高齢者の単独世帯への訪問介護事業の強化（横出しサービスとしての買い物支援）家事支援の時間延長許可（ケアプラン作成による）と推進。
- ・ 医療機関に対する IT 診療拡大への支援、IT 診療を推進する介護サービスによるサポートの点数化もしくは助成金制度の新設、IT 診療へのマニュアル作成
- ・ IT を用いた職場の感染予防支援として介護の質を高める研修相談などに対する助成金制度の新設

日本認知症グループホーム協会熊本県支部長 高橋恵子 55 歳

連絡先：〒861-3243 上益城郡甲佐町白旗 986 グループホームせせらぎ

電話/FAX：096-234-5511 メール：seasir6@me.com